

高田築城前の川の流路

高田築城は慶長19年(1614年)です。『上越文化財調査報告書 高田城』(上越市教育委員会 1972)や『高田市史』(高田市 1958)には、築城前の関川等の流路に関する記述があります。各種の歴史資料や地勢等も加味して、それを空中写真に落とすと、下図のようになります。

- ◆ 高田城の外堀は、もともとは関川が蛇行していた流れそのものだった。
- ◆ 現在の稻田あたりの関川の流路は築城前には存在せず、築城時に掘削して新たにつくった流路だった。
- ◆ 旧青田川は、現在の南本町2で西に曲がらずに北に流れ、当時の関川(今の外堀)にそのまま注いでいた。
- ◆ 現在の本町と仲町の間を流れる儀明川は築城前には存在せず、現在の大町2から北側の青田川の流路が実は元の儀明川だった。



国土地理院の空中写真(S22:米軍撮影)
を基に公文書センターで作成